

巻号	執筆者名	論 題
311	安部 大佳	ウォーバートの貨幣経済論と現代マネタリズム - “パイオニア・マネタリスト”としての評価-
330	阿部 安成	国芳という戦場(下) - 想像と表象への試論 -
328	阿部 安成	国芳という戦場(中) - 想像と表象への試論 -
327	阿部 安成	国芳という戦場(上) - 想像と表象への試論 -
324	阿知羅隆雄	1840年代地主財政再建をめぐる二つの見解 - 第6代デヴォンシア公爵の場合 -
317	阿知羅隆雄	1840年代英国土地貴族の所領経営 - デヴォンシア公爵家の家産管理と負債問題-
330	秋山 義則	アメリカ州・地方公務員年金の資金運用について
322	秋山 義則	地方債制度改革の現状と改革方向
314	秋山 義則	連邦地域開発政策の動向 - 分権化, 市場化 -
310	秋山 義則	アメリカ州・地方債制度の形成過程
304	秋山 義則	地方財政危機と地方財政改革の課題
326	荒井 壽夫	<資料> 経済学部の理念とその解説
325	荒井 壽夫	フランス自動車産業における雇用の弾力化 - エキブモンテイエにおける新しい雇用人事管理 -
324	荒井 壽夫	フランス自動車産業における労働編成の柔軟化 - 脱テイラー主義の改革の諸段階 -
321	荒井 壽夫	フランス自動車産業における労働・雇用の弾力化—問題の所在と分析の枠組み—
315	荒井 壽夫	フランス自動車産業における雇用調整 - 80年代中期のルノー公団の経営危機のもとでの「人員整理」 -
309	荒井 壽夫	フランス自動車産業における労働時間の弾力化 - 80年代以降におけるルノー・フラン工場の事例-
308	荒井 壽夫	フランス自動車産業における生産組織・労働編成改革と雇用管理 - 90年代の改革方向は「ジャパナイゼーション」か? (下)
305	荒井 壽夫	フランス自動車産業における生産組織・労働編成改革と雇用管理 - 90年代の改革方向は「ジャパナイゼーション」か? (上) -
305	荒木 長照	不確実性下の耐久消費財の価格政策
323	有馬 敏則	ペイオフと預金保険制度
322	有馬 敏則	ヘッジファンドと国際資本移動規制
305	有賀 裕二	スラッファ結合生産モデルと技術の選択
309	朝日吉太郎	DGB新綱領路線とドイツ労働運動
308	Gabor Bakos	Seed Money Approach in Japanese Technology Policy
315	堂本 健二	タイの発展局面と経済危機
310	堂本 健二	インドシナ諸国の経済改革10年
305	堂本 健二	カンボジア経済 : 復興から成長への課題
301	越後 和典	(研究ノート) 新オーストリア学派の公共財理論について
327	福田 敏浩	J. コルナイの体制移行論の検討
325	福田 敏浩	社会的市場経済の理論的源流 - ヴィルヘルム・レプケの経済ヒューマニズム -
322	福田 敏浩	移行経済の経済学
320	福田 敏浩	社会的市場経済の原像 —ドイツ経済政策の思想的源流—
316	福田 敏浩	20世紀末の移行経済 - 経済体制論的考察-
315	福田 敏浩	移行経済のセカンド・ステージ
313	福田 敏浩	比較経済体制論のフロンティア
308	福田 敏浩	反故になった市場社会主義 - 東ドイツ最後の経済戦略 -
305	福田 敏浩	体制移行の経済学 - 形態論的アプローチ -
316	福浦 厚子	シンガポールにおける華人の社会組織 - 海峡植民地期から英領直轄植民地期まで -
319	後藤 實男	平成期の経営分析
324	原 秀六	未履行契約の処理に関する破産管財人の権利および義務
308	原 秀六	合併比率の公正確保と計算上の問題
307	原 秀六	合併シナジーの分配と公正な合併比率
306	原 秀六	破産管財人の権限と動産担保
303	原 秀六	米国における大量資産譲渡規制と債権者保護(二)
302	原 秀六	米国における大量資産譲渡規制と債権者保護(一)

巻号	執筆者名	論 題
301	原田 敏丸	彦根回想
329	原田 俊孝	ドイツにおけるWordsworthとColeridge - 二人の別行動の意味 -
326	原田 俊孝	< 翻訳 > ドロシー・ワーズワスの「ハンブルク・ゴスラー訪問記」(1798) (2)
321	原田 俊孝	1810年のWordsworthとColeridgeの別れ—Sara Hutchinsonを中心に—
320	秦 由美子	英国大学自治と高等教育政策
308	秦 由美子	イギリス高等教育における統合 - 『ロビンス報告書』の意味するもの -
329	平田 哲史	初心者指導における後方倒立回転とびのプログラム学習に関する研究
321	弘中 史子	中小製造業のスキルに関する一考察
317	弘中 史子	金属・機械産業における中小企業の技術力向上 —技術開発の前段階を中心として—
306	北條ゆかり	グアダルパニスモの理論的唱導者, ミゲル・サンチェス : その著作と歴史的背景
304	北條ゆかり	植民地期メキシコにおける「グアダルーペの聖母」信仰に関する一考察
323	堀本 三郎	平均 - 分散平面上における裁定評価理論
311	堀本 三郎	タンジェンシー・ポートフォリオの振舞い - 「Rollの批判」を克服できるか -
312	石田 武夫	中文の日訳
329	伊藤 博之	組織の歴史的伝統の探求 - 物語論の観点から -
317	伊藤 博之	「プラクシス」としての戦略 —戦略概念の社会文化的考察—
314	伊藤 博之	「解釈学的読み」からの組織パラダイム論再考 - ヒュレット・パッカド社 の事例をめぐって -
310	伊藤 博之	組織転換と構造化理論 - アメリカ・ハイテック企業のエスノグラフィー -
328	岩藤美智子	ドイツ法における報告義務と顛末報告義務 (2) - 他人の事務を処理する者の事後的情報提供義務の手がかりを求めて -
327	岩藤美智子	ドイツ法における報告義務と顛末報告義務 (1) - 他人の事務を処理する者の事後的情報提供義務の手がかりを求めて -
317	岩崎奈緒子	近世前期の庄郷と村 —近江国蒲生郡高木村とその周辺の村々を素材に—
315	伊豫谷登士翁	戦時動員期の国際経済研究
328	梶田 公	進化的進化過程としての経済成長 日米経済の現状に関する一考察
320	梶田 公	利子率, 物価, そして景気回復
314	梶田 公	景気回復と利子率
329	梶谷 信之	体操競技選手の平衡機能に関する基礎研究
327	金子 孝吉	助数詞と対象分類 - 文化システムの研究 (3) -
320	金子 孝吉	カロッサのジーベンピュルゲン体験について
316	金子 孝吉	カロッサの詩「到達しえぬと思われた山頂...」について
325	金子 孝吉	言語の複数表現の多様性と対象認識について - 文化システムの研究 (2) -
321	可児島達夫	資産負債アプローチと収益費用アプローチに関する一考察
306	可児島達夫	<研究ノート> 伴'リにおける財務報告の概念フレームワークに関する一考察 —時価評価アプローチによる認識・測定・表示を中心として -
315	加納 正雄	ケインズの理論における対内均衡と対外均衡
301	加藤 勝康	思い出すままに
311	加藤 竜太	「無限期間」動学的最適化問題について
311	河相 俊之	研究開発競争と複占市場の変転
305	河相 俊之	死刑の存廃について
309	北村 裕明	非営利・非政府組織と開発 - UNDP(1993), Human Development Report 1993, を中心に -
307	北村 裕明	カウンスル税の成立 - 現代イギリス地方税改革の研究 (4) -
306	北村 裕明	人頭税の政治経済過程 - 現代イギリス地方税改革の研究 (3)
302	北村 裕明	地方税率制限への道 - 現代イギリス地方税改革の研究 (2) -
301	北村 裕明	現代イギリス地方税改革の起点 - 『レイフィールド委員会報告』再論 -
311	近藤 学	民主的改革のためのマクロ計量モデル
306	近藤 学	経済の寡占化と不安定性 () - シミュレーションによる分析 -
305	近藤 学	経済の寡占化と不安定性 (1) - シミュレーションによる分析 -
329	小西 中和	ジョン・ジューイの中国論

巻号	執筆者名	論 題
315	小西 中和	ジョン・デューイの政治思想の形成
305	小西 中和	「文化的多元論」から「多文化主義」へ - デューイのナショナリズム論の今日的意義によせて -
328	神山 進	性の商品化と商品価値 - セックスを焦点にして -
326	神山 進	<資料> 経済学部の理念とその解説
321	神山 進	性の商品化と商品価値—被服によるジェンダーの表示—
317	神山 進	性の商品化と商品価値 —ジェンダーを焦点にして—
323	久保田 肇	伝統的な世界経済モデルにおける自由貿易からの利益の存在について：非完備な選好のケース
311	久保田 肇	双対性分析によるオッファー曲線の導出とその応用について
330	久保田秀樹	経理近代化の原点としての商工省「財務諸表準則」
329	久保田秀樹	会社経理統制と経理検査
327	久保田秀樹	日本型会計制度の成立 - 企画院「財務諸準則」の意義
323	久保田秀樹	日本における企業経理近代化の系譜
318	久保田秀樹	グローバル経済と会計規則
307	久保田秀樹	資本市場のグローバル化による市場指向型会計の普遍化と会社規制型会計との調整
301	久保田秀樹	グローバル化時代におけるデリバティブに係るドイツ大企業の会計報告
326	黒石 晋	<資料> 経済学部の理念とその解説
324	黒石 晋	欲望のエネルギー論 (その8)
323	黒石 晋	社会エネルギー論 (Socio-energetics) の構想
320	黒石 晋	欲望のエネルギー論 (その7)
313	黒石 晋	欲望のエネルギー論 (その6)
312	黒石 晋	欲望のエネルギー論 (その5)
310	黒石 晋	欲望のエネルギー論 (その4)
309	黒石 晋	プロテスタンティズムの禁欲と資本主義の貪欲 - ウェーバー・テーゼに見る欲望のダイナミズム -
308	黒石 晋	欲望のエネルギー論 (その3)
307	黒石 晋	欲望のエネルギー論 (その2)
306	黒石 晋	欲望のエネルギー論 (その1)
325	桑田 幸三	<翻訳> 鹿 慧 (Lu, Xuhui) 著, 司馬遷の貨幣理論 - 『史記』「平準書」の歴史的地位と価値について
310	丸茂 俊彦	金融システムの比較制度分析
328	丸茂 俊彦	戦略的情報収集と再交渉
322	松尾 博	“instinct of workmanship” の訳語について
311	松嶋 敦茂	規則・規範・合理性
329	松下 唯夫	トナカイ遊牧民トゥバ族のスキーと狩猟
301	松尾 博	『彦根論叢』300号に憶う
329	三神 憲一	滋賀県内におけるラグビー選手の体力に関する研究 - 他府県との比較を通して -
323	御崎加代子	自由主義学派によるワルラス純粋経済学批判
319	御崎加代子	<研究ノート> ローザンヌ大学ワルラス文庫について
308	御崎加代子	ワルラスと進歩
326	三ツ石郁夫	第一次大戦前ドイツの金融構造における貯蓄金庫の機能転化 - 社会政策手段から「経済主体」へ -
315	三ツ石郁夫	初期アルフレート・ウェーバーにおける労働問題の意義
329	宮本 孝	高校駅伝選手における有酸素能力と5000mの記録との関係
311	水原 聡平	不確実性下の合理的行動に関するケインズの理論について
321	森 晶寿	国際環境援助協力の現状と課題
314	森 晶寿	アジアにおける民活インフラと政府の財政負担
313	森 将豪	企業会計原則の代数的記述
309	村田 武	EU共通農業政策改革の直接補償支払 - ドイツ・バーデン・ヴュルテンベルク州にみる -
317	永田 誠	ニックリッシュの組織論における自由と共同性

巻号	執筆者名	論 題
311	中島 太一	中国経済研究に於ける近代的方法の受容について - 張培剛の発展経済学を中心に -
309	中島 太一	中国経済における地域主義について - その歴史的規定性と可能性 -
301	中島 太一	滋賀大学経済学部におけるマルクス経済学研究について
330	中野 桂	Corporate Shareholding and Agency Cost
304	金子 孝吉	ハンス・カロッサの「日記」について
321	成瀬 龍夫	日本の民間福祉事業と寄付制度
315	成瀬 龍夫	社会保障と世代間の公平
309	成瀬 龍夫	社会福祉措置制度の意義と課題
321	二宮健史郎	(研究ノート) 固定為替相場制における国際資本移動と金融構造
311	二宮健史郎	資産, 総需要, 及び金融政策
305	二宮健史郎	市中銀行の行動と地代, 自己資本のマクロ的変動
320	野本 明成	消費者行動の類似性についての一考察
317	野本 明成	多文化社会におけるマーケット・セグメンテーションの可能性についての一考察
328	小川 功	一県一行主義による当局主導の強圧的銀行統合の弊害 - 旧岩手銀行と三陸銀行の合併を巡る紛糾を中心に -
327	小川 功	首位行による共同出資行の機関化と下位行封じ込め - 大正期貯蓄銀行合同設立を巡る岩手銀行界の紛糾
326	小川 功	機関銀行と機関新聞 - 近江商人進出地・盛岡の金融破綻 -
321	小川 功	地方公益企業の乗取失敗と関与銀行家の苦悩—篠山軽便鉄道を事例として—
319	小川 功	明治後期の不振私鉄のファイナンス—金辺鉄道破綻と債務の株式化事例—
316	小川 功	明治30年代の垂幹線鉄道の資金調達と銀行家 - 総武・房総・七尾・徳島鉄道を中心に -
312	小川 功	投機的資本家集団と銀行乗取 - 芸備銀行株主総会紛糾事件を中心として -
305	小川 功	土地会社方式による不良債権処理 - 渡辺系昭和土地案から勤銀・根津系自己競落会社への変態を中心に -
329	小倉 明浩	市場, 政府, 国際関係 - 開発における制度をめぐって -
322	小倉 明浩	グローバル化下における開発戦略の可能性
320	小倉 明浩	世界経済の構造変化のもとでの地域経済統合 —ラテンアメリカのケースから—
309	小倉 明浩	国際資本移動と発展途上国経済の成長・安定 - ラテンアメリカと東南アジアの経験の比較によって -
321	小栗 誠治	中央銀行の「最後の貸し手」機能—新日本銀行法における位置付けと発動原則の検討を中心に—
315	小栗 誠治	金融市場と金融調節
330	大川 良文	南北経済の産業・技術政策と技術開発率・技術模倣率に関する考察 - 同質財部門を加えた水平的差別化モデルによる分析 -
317	奥村 哲史	管理者役割の発生的側面 第三者の問題解決者としてのマネジャー
302	奥村 哲史	(書評) ジェーン・M・ブレット「グループ」の意思決定における交渉
317	太田 肇	公務員の人事管理に関する一考察 —モチベーションを中心に—
312	太田 肇	プロフェッショナルとインフラ型組織
302	太田 肇	組織と個人の統合システム: 試論
323	太田 善之	『動的貸借対照表論』における貨幣および資本の解釈について
304	太田 善之	土地開発公社における会計(3) - 滋賀県内の事例を参考にして -
303	太田 善之	土地開発公社における会計(1) - 滋賀県内の事例を参考にして -
323	小田切純子	医療サービスの減価計算 - ABCの適用を中心として -
314	小田切純子	サービス企業原価計算の基本問題
326	大和田敢太	労働組合の代表権能をめぐる課題 フランスにおける労働組合複数主義のもとでも労働組合の代表性の二つの側面
315	大和田敢太	フランスにおける団結権論の課題: 規制緩和政策と労働組合の代表権能
309	大和田敢太	フランスにおける労働運動の高揚と団結権論の新展開: 1995年大闘争と労働組合の代表権能の位相
306	大和田敢太	Legislation du travail au Japon -Introduction sur le regime legal dans le rapport collectif entre l'employeur et les salaries-
304	大和田敢太	L'actualite du droit syndical sous la crise des syndicats en France
307	両頭 正明	滋賀大学における会計学(3)
306	両頭 正明	滋賀大学における会計学(2)
301	両頭 正明	滋賀大学における会計学(1) - 彦根高商時代の会計学 -

巻号	執筆者名	論 題
328	斉藤 邦彦	Sapidによるソフトウェア解析技法 - ソフトウェア・メトリックスの作成 -
325	斉藤 邦彦	Sapidによるソフトウェア解析技法 - Cプログラムの全体構造をとらえる -
323	斉藤 邦彦	直接実現可能な経営情報システムのモデリング手法の提案
310	斉藤 邦彦	(研究ノート)ソフトウェア工学ツール・プラットフォームSapid
302	斉藤 邦彦	次世代コンピュータネットワークとグループ意思決定支援システム - 移動オブジェクト定義環境MOLE -
330	酒居 叡二	業務監査知識の吟味(10) - 内部監査報告書 -
328	酒居 叡二	業務監査知識の吟味(9) - 監査人にあるべき心構え -
326	酒居 叡二	業務監査知識の吟味(8) - 監査プログラム -
323	酒居 叡二	業務監査知識の吟味 - 発見された矛盾に向かうべき監査人の対応上の諸問題 -
320	酒居 叡二	業務監査知識の吟味(6) - 調査過程における言語使用上の留意点 -
318	酒居 叡二	業務監査知識の吟味(5) - 内部監査人を守る者 -
315	酒居 叡二	業務監査知識の吟味 - 監査人として恐れるべきこと -
312	酒居 叡二	業務監査知識の吟味(3) - 文書化された経営システムから入手することのできる利益 -
309	酒居 叡二	業務監査知識の吟味 - 内部統制組織に対する「科学的管理」手法応用の筋道 -
317	澤木 聖子	異文化経営における自律的人的資源管理施策に関する研究 - 日韓合弁企業の事例を通じて -
320	千本木修一	ロスモデル分析
319	千本木修一	内生的シュタツケルベルク競争
311	芹澤 成弘	Extension of "Voting by Committees" to a Model with Multiple Consumption Level
309	庄谷 邦幸	都市型地場産業における「産業空洞化」と対応
315	杉野 幹夫	市場グローバル化の特質について
316	鈴木 正仁	Supranationalism と外国人労働者問題
311	鈴木 康夫	ケインジアン革命と、標準的なワルラシアン・マクロ経済体系
318	只友 景士	沖縄振興開発政策と離島市町村財政
323	田平 正典	所得移転による援助か、国際公共財による貢献か - 国際間(地域間)の公平と効率
311	田平 正典	滋賀県下市町村の上・下水道事業の費用分析: 生産関係による接近
320	竹村 正明	研究ノート 消費者製品システム観の構造 - 製品・要素技術と消費者問題解決様式の相互作用 -
317	竹村 正明	マーケティング戦略と消費者製品システム観の創発的進化
316	竹村 正明	「ヒット商品」
313	武永 淳	(翻訳)オーストリア共和国連邦憲法(2)
312	武永 淳	(翻訳)オーストリア共和国連邦憲法(1)
301	玉木 興乗	彦根論叢の近代経済学
305	田中 英明	市場機構としての商業信用 - 一時的な信用取引と恒常的な信用取引 -
318	谷川 義行	非完備条件付き財市場における一般均衡存在命題 - 無限期間 / 無限分岐に纏わる諸問題を中心として - (その2)
316	谷川 義行	非完備条件付き財市場における一般均衡存在命題 - 無限期間 / 無限分岐に纏わる諸問題を中心として - (その1)
329	戸田 俊彦	滋賀県企業の新事業展開の実態と特徴
321	戸田 俊彦	滋賀県企業の新事業展開の実態と特徴
317	戸田 俊彦	ベンチャービジネスの増強と企業家
329	平井 富弘	Effects of Uric Acid on Exercise-induced Oxidative Stress
317	富田 光彦	在中日系企業における中国人中間管理職の動機づけと仕事態度の変化
307	富田 光彦	Japanese-Style Middle Management Models in Global Perspective
330	戸崎 哲彦	唐代における州郡県名の改易について - 安祿山に対する肅宗の「悪意避諱」を中心にして -
327	戸崎 哲彦	中国の「文明開化」(下) - 経済政策「改革・開放」と文化の伝播 -
325	戸崎 哲彦	中国の「文明開化」(中) - 改革開放後における外来文化の受容と翻訳 -
322	戸崎 哲彦	中国の「文明開化」(上) - 改革開放政策下における中国の社会と言葉 -
320	戸崎 哲彦	翻訳 廖 国一 著『中国広西少数民族の習俗の住居建築に及ぼせる影響』
319	戸崎 哲彦	高陽の酒徒・李白と山簡(下) - 唐詩における山簡の故事の使用および李白の山簡に対する敬愛とその意味 -

巻号	執筆者名	論 題
315	戸崎 哲彦	高陽の酒徒・李白と山簡- 唐詩における山簡の故事の使用および李白の山簡に対する敬愛とその意味-
314	戸崎 哲彦	杜甫と花卿(下) - 杜詩「贈花卿」・「戲作花卿歌」の解釈をめぐって -
313	戸崎 哲彦	杜甫と花卿(上) - 杜詩「贈花卿」・「戲作花卿歌」の解釈をめぐって -
312	戸崎 哲彦	(翻訳) 陳雁谷著“柳風”“徐行”光照日月 - 柳宗元と徐霞客の輝かしき功績 -
310	戸崎 哲彦	柳宗元の文学と楚越方言(下) - 唐代中期・9世紀初における中国西南少数民族の言語文化 -
308	戸崎 哲彦	なぜ船着場を“埠頭”というのか - 東アジアの風土と言語文化(1) -
307	戸崎 哲彦	永州柳子廟の創建時期をめぐって - 鄭金球氏の拙論批判に対する反論 -
306	戸崎 哲彦	唐・岑参「題苜蓿烽寄家人」詩について - 胡蘆河・苜蓿烽をめぐる歴史地理学的考察と唐代辺塞詩人・岑参研究の問題点 -
303	戸崎 哲彦	唐代中期における“民主主義”の出現(2) - 呂温と柳宗元の“主権在民”の思想 -
302	戸崎 哲彦	唐代中期における“民主主義”の出現(1) - 范伝真・柳宗元の官吏“公僕”論 -
318	筒井 正夫	工場の出現と地域社会(4) -完- 一産業革命期における富士紡績会社と静岡県小山地域一
316	筒井 正夫	工場の出現と地域社会(3) - 産業革命期における富士紡績会社と静岡県小山地域 -
305	筒井 正夫	工場の出現と地域社会(1) - 産業革命期における富士紡績会社と静岡県小山地域 -
302	筒井 正夫	柳宗悦における「物」と「心」
327	内田 耕作	社会的妥当性と独占禁止法(その4) - 私見の展開(上) -
325	内田 耕作	社会的妥当性と独占禁止法(その3) - 公正競争阻害に限定して -
324	内田 耕作	社会的妥当性と独占禁止法(その2) - 競争阻害に限定して -
321	内田 耕作	社会的妥当性と独占禁止法—競争制限に限定して—
316	内田 耕作	アメリカ独禁法における消費者救済制度
314	内田 耕作	著作物再販制度の見直しの評価(その5) - 見直しのスタンス(下) -
313	内田 耕作	著作物再販制度の見直しの評価(その4) - 見直しのスタンス(中) -
310	内田 耕作	著作権再販制度の見直しの評価(その3) - 見直しのスタンス(上) -
308	内田 耕作	著作物再販制度の見直しの評価(その2) - 著作物再販制度の趣旨の理解に限定して -
307	内田 耕作	著作物再販制度の見直しの評価(その1) - 見直しのプロセスに限定して -
315	梅沢 直樹	価値形態論の見直しのために
309	梅沢 直樹	エコロジー・ジェンダー差別・経済学
305	梅沢 直樹	グラムシと経済学の現代的課題 - 菱山氏のスラッファ/グラムシ論を手掛かりに -
317	宇佐美英機	近江商人中井家の家訓・店則にみる「立身」と「出世」
302	宇佐美英機	明治時代の出世証文 - 滋賀県神崎郡五箇荘町域の事例 -
323	和田 佳之	Countermeasure against Externalities by the Victim
311	和田 佳之	Does Economics Contribute to Solving Environmental Problems?
305	和田 佳之	The Principle of Deposit-Refund Systems -Who should Be Involved in the Systems?-
329	山内 賢	静止駐立姿勢時における足底重心位置と下肢筋力との関係
327	頼 誠	管理会計の変化のプロセスに関する研究 - Burns&Scapensによる英国企業と分析モデルについて -
307	頼 誠	ネットワーク組織におけるマネジメント・コントロール - SimonsによるモデルとM社の事例 -
301	吉田 修	『彦根論叢』300号に見る経営学研究の系譜
309	吉川 英治	機能する潜在能力の相対性について
330		学内研究消息
327		学内研究消息
324		学内研究消息
324		平成11年度夏季休暇学生懸賞論文結果発表
322		学内研究消息
319		学内研究消息
316		学内研究消息
314		学内研究消息
312		学内研究消息

巻号	執筆者名	論 題
310		学内研究消息
308		学内研究消息
306		学内研究消息
304		学内研究消息
302		学内研究消息
318		平成10年度夏季休暇学生懸賞論文結果発表
329		山内隆教授略歴と業績
323		両頭正明教授略歴と業績
317		吉田修教授 略歴と業績
315		中島太一教授 略歴と業績
311		玉木興乗教授 略歴と著作目録
309		美崎皓教授略歴・著作目録
307		野中大輔講師略歴
305		梶田 公教授略歴と主要業績
325		平成11年度修士論文要旨
319		平成10年度修士論文要旨
313		平成九年度修士論文要旨
312		平成八年度修士論文要旨
303		平成七年度修士論文要旨